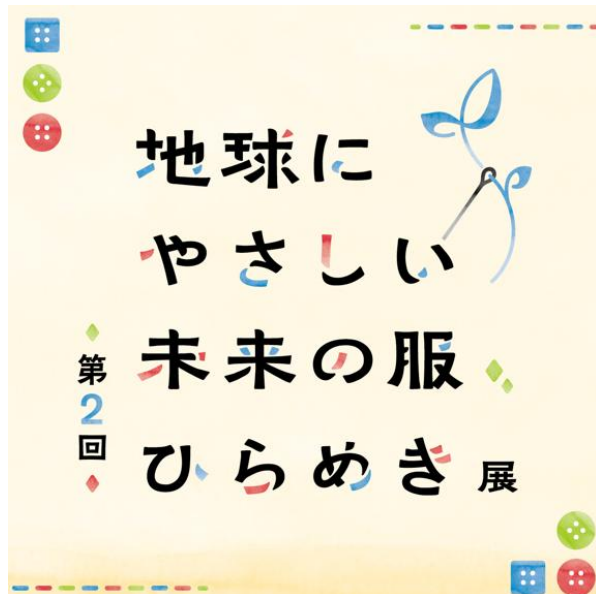




事前学習教材

株式会社ゴールドウイン

株式会社ゴールドウインは、2027年3月に、「ゴールドウイン 地球にやさしい未来の服、ひらめき展」を開催します。

この教材は、「ゴールドウイン 地球にやさしい未来の服、ひらめき展」で募集する「地球にやさしい未来の服」を考える前に、地球環境と服の関係について学ぶ、事前学習用の教材です。

はじめまして。

スポーツ・アウトドアウェアを長年、製造販売している株式会社ゴールドウインです。

私たちにとって、毎日着る、なくてはならない服は、地球環境だけでなく人権問題なども含めて、多くの課題と関わっています。

地球にやさしい服ってどんな服だろう？

未来にどんな服があったらいいだろう？

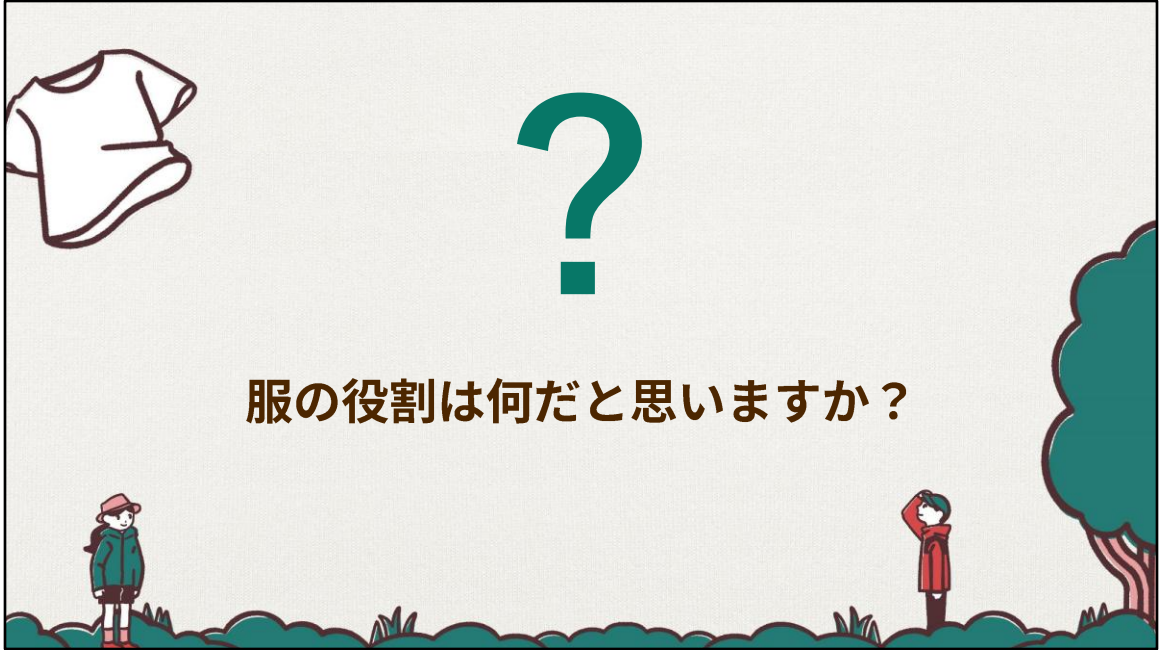
どんな仕組みがあれば、環境への負荷を減らせるだろう？

みんなのひらめき・アイデアで、地球の未来とこれからの服のありかたを一緒に考えたくて、2026年3月、「ゴールドウイン 地球にやさしい未来の服、ひらめき展」を開催します。

この教材を通じて、今の地球環境と服（ファッション）の関係性や課題を学んで、地球にやさしい未来の服について、一緒に考えてもらえたら嬉しいです。

私たちにとって、毎日着る、なくてはならない服（ファッション）は、地球環境だけでなく人権問題なども含めて、多くの課題と関わっています。

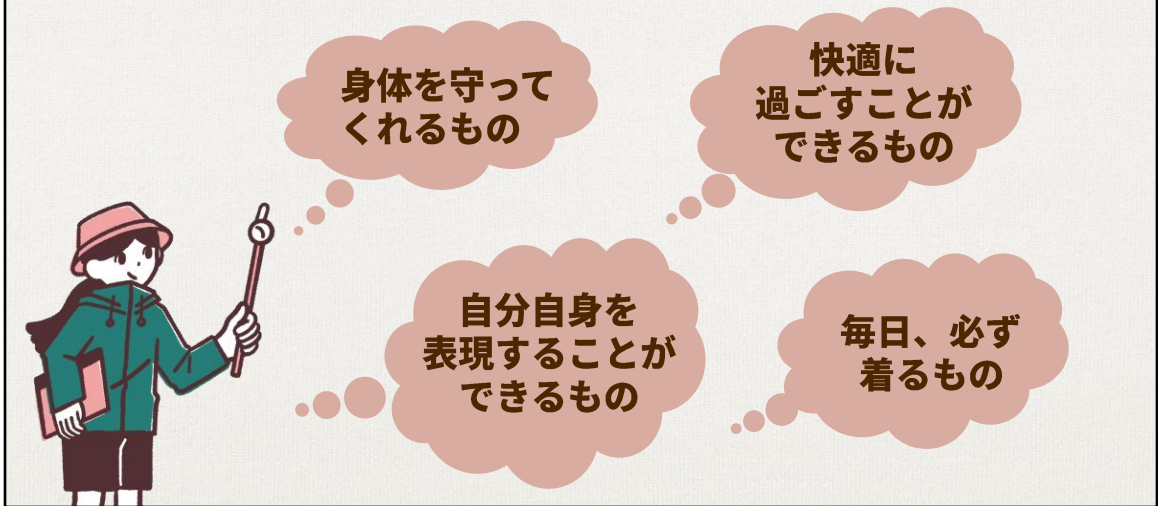
この教材を通じて、今の地球環境と服（ファッション）の関係性や課題を学んで、地球にやさしい未来の服について、一緒に考えてみましょう。



まずはじめに、私たち人間にとって、服はどんな役割があるのでしょうか。

(みんなで考えたり、意見を出し合ったりしてみましょう。)

私たちにとって服とは？



私たちにとって、服はこんな役割があります。

- ・身体を守ってくれるもの（暑さ寒さ、衝突・接触などから身体を守ってくれる）
- ・快適に過ごすことができるもの（寒いときに防寒具、雨のときに雨具など、機能性のある服によって快適に過ごすことができる）
- ・自分自身を表現できるもの（好きな色、シルエット、ブランドなどを選んで、自分自身の個性を表現できるもの）
- ・毎日、必ず着るもの（人間社会で生活する上で、服は毎日必ず着るもの）

つまり・・・

なくてはならない“**必需品**”
といえます。



つまり、なくてはならない“必需品”といえます。

だけど・・・

ファッション産業がかかえる課題

環境汚染産業 第2位

出典：国連貿易開発会議（UNCTAD）

ファッション産業（服や靴などをつくっている産業）は、世界第2位の環境汚染産業といわれています。
私たちが毎日必ず着ている服が、環境に大きな負荷を与えてしまっているということです。

（参考）

- ・国連貿易開発会議（UNCTAD）によると、環境汚染産業第1位は石油産業です。
- ・ファッション（繊維・アパレル）産業が環境汚染産業第2位の主な理由は以下のようにいわれています。
 - ↳大量生産、大量廃棄
 - ↳水の大量使用
 - ↳化学物質による汚染（大気、水質、土壌など） など

服の一生 をみてみよう！



ほかにも、ファッション産業では、つくる人の人権問題や動物愛護などさまざまな課題もかかえています。

今回は、主に、地球環境における課題を中心に学んでいきます。

まずは、服がつくられてから着終わるまでの服の一生についてみてみましょう。



「材料」の調達からはじまり、「製造」工程では、紡績、紡織、染色、断裁、縫製などさまざまな工程があります。

服は、いろいろな材料や素材が使用され、生産工程も多岐にわたりますので、これらの工程が複数の会社によって行われています。

現在、日本で着られている多くの服は海外でつくられているため「輸送」されて日本に届き、お店で「販売」されて、

ようやく私たちが「利用」します。

着られたあとは、「廃棄」される服がまだまだ多いのが現状ですが、少しずつ「リサイクル」や「リユース」も広まっています。

「リサイクル」された服は、また新しい服などの原料ともなります。



続いて、具体的に、服と環境のつながりについて考えてみましょう。

服をつくるためには…

- たくさんの水が必要です 
- たくさんの温室効果ガスが出ます 
- たくさんの薬品をつかいます 
- たくさんのゴミが出ます 

服をつくるために、このようなことが起きています。

例えば、、、

- ・服をつくるために、原料材料を育てたり、糸や生地をつくる工程でたくさんの水を使います。
- ・とくに、化学繊維とよばれる石油由来の素材をつくるとき、たくさんの温室効果ガスが発生してしまいます。
- ・糸や生地を染めたり、機能性のある生地加工するとき、たくさんの薬品をつかうことがあります。
- ・服をつくりすぎると、生産工程で発生するゴミもたくさん出てしまいます。

このようなことによって、地球環境に負荷がかかってしまっている状況があります。



ここでクイズです。

「綿のTシャツを1枚つくるのに、どのくらいの水が必要でしょうか？」



A:2.2リットル（具体例：2リットルペットボトル1本と少し）

B:22リットル（具体例：2リットルペットボトル11本）

C:220リットル（具体例：2リットルペットボトル110本、一般的な家庭のお風呂の浴槽約1杯分）

D:2200リットル（具体例：2リットルペットボトル1100本、一般的な家庭のお風呂の浴槽約11杯分）

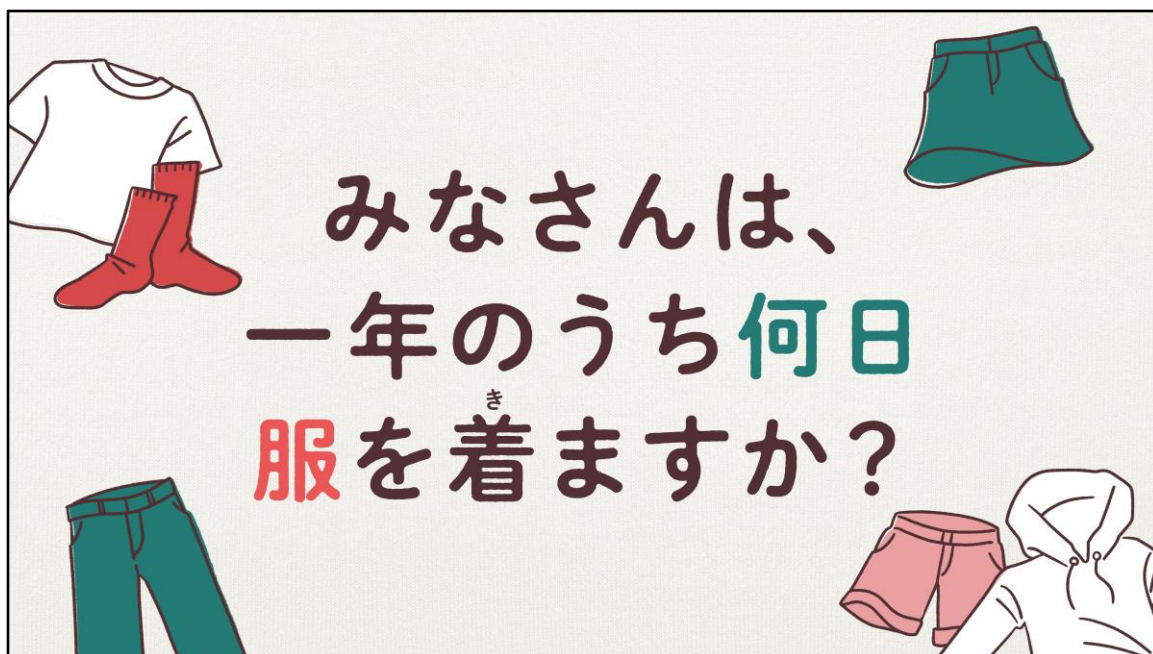


正解は、

D:2200リットル（具体例：2リットルペットボトル1100本、一般的な家庭のお風呂の浴槽約11杯分）
とされています。

※なお、このデータにつきましては計算方法や算出方法によって所説あり、World Wildlife Fund（WWF）によると、約2700リットルとも言われていたり、綿花の生産地域、方法、製造段階のどこまでを含むかなどの前提条件により、変動します。

綿の原料となる綿花は育てるためにたくさんのお水が必要です。
また、収穫したあとに糸や布にする工程でも、洗ったり染めたりするときにたくさんのお水を使っています。



みなさんは、一年のうちにに何日服を着ますか？

この教材の最初でもお伝えしましたが、365日、基本的には着ない日はないですよ。

繰り返し、服を着るために、お家の方があることをしてくれていませんか？

毎日^き着るものだから…

せん たく
洗濯すると、たくさんの
マイクロプラスチック
が出てきます。



洗濯です。

服を清潔に繰り返し着るためには、洗濯が必要ですが、
実は、この洗濯から流れ出る廃水に、化学繊維の服から出るマイクロプラスチックが含まれてしまい、
海のマイクロプラスチックのうち、35%が洗濯排水によるものだ、とも言われています。

出典：国際自然保護連合（IUCN,2017）

服をつくるための 環境への負荷



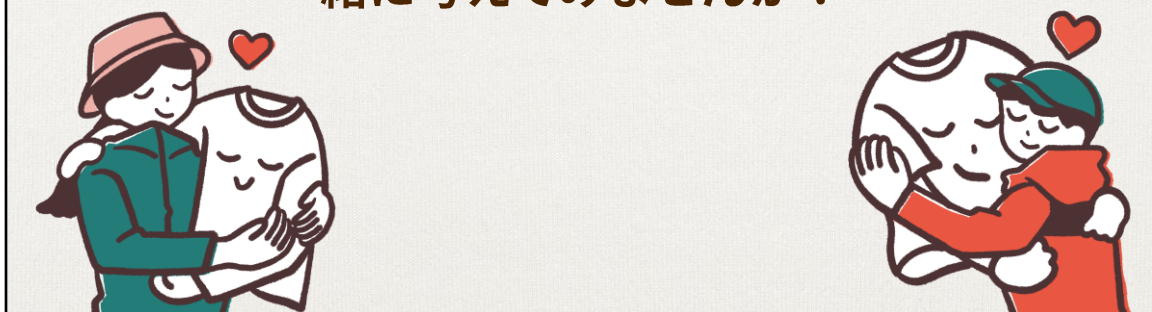
服をつくることで、環境に負荷をかけているということを学びました。

具体的には、

- ・水をたくさん使用する（原料素材を育てたり加工する工程）
 - ・水質汚染、土壌汚染、大気汚染（服をつくる過程で使用する化学物質や農薬による汚染）
 - ・CO₂の排出（化学繊維などを生産加工する工程で発生）
- などがありました。

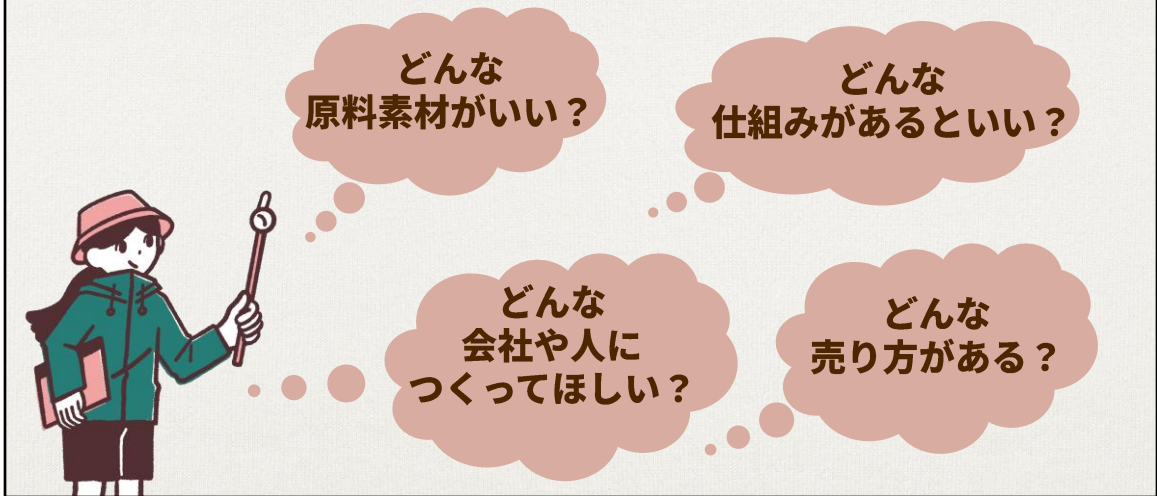
地球にやさしい未来の服

一緒に考えてみませんか？



地球環境への負荷を少しでも減らせるように、「地球にやさしい未来の服」をみんなで考えてみましょう。

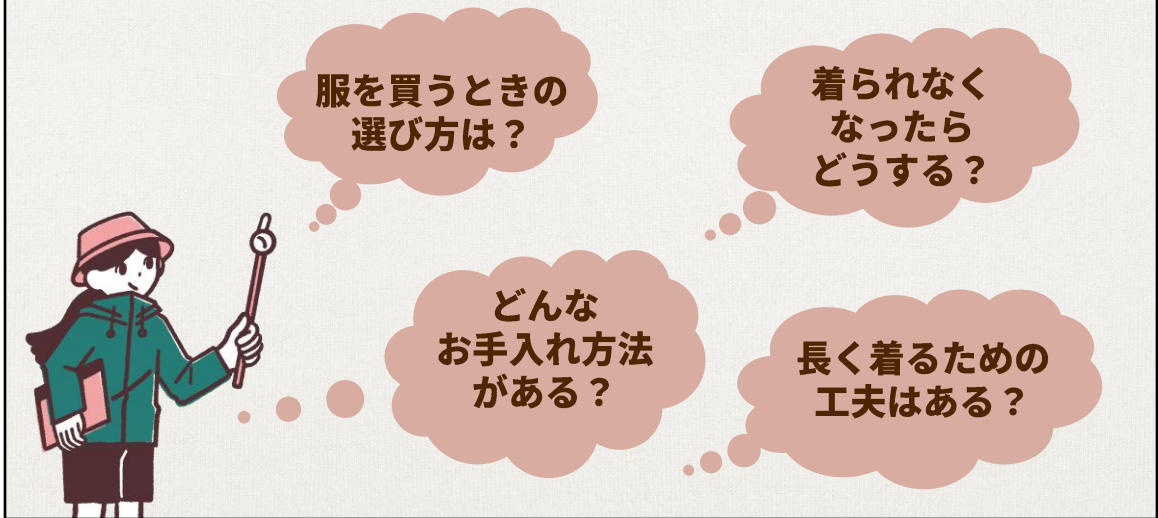
考え方のヒント “つくる”を変える



考え方のヒント：「つくる」を変える方法はあるでしょうか？
生産者、企業側がどのように変わっていけば、地球にやさしい服がつかれるでしょうか？

- ・原料素材を変えることで地球への負担を減らせるとしたら、どんな原料素材があるだろう、どんなふうに原料素材をつくれればいいだろう？
- ・服に関する社会の仕組み（法令、システム、流通など）を変えることで、負荷を減らす方法があるだろう？
- ・どんな考えをもった会社や人がつくったら、地球にやさしい服ができるだろう？
- ・どんな販売方法だったら、地球にやさしい服が売れるだろう？

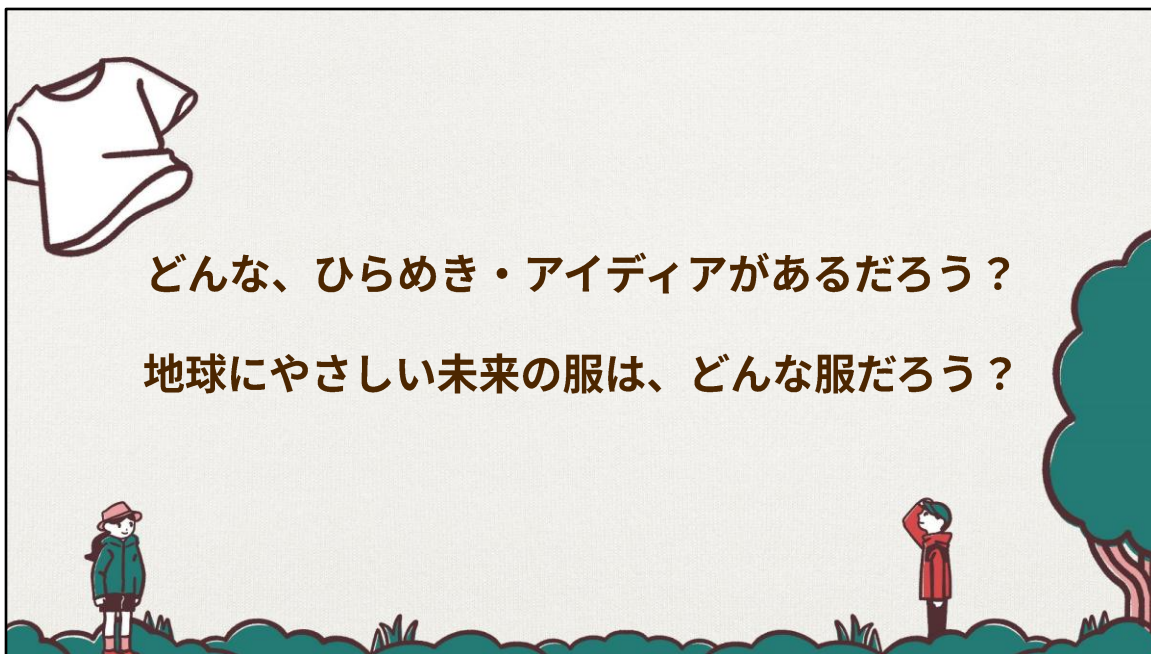
考え方のヒント “着る”を変える



考え方のヒント：「着る」を変える方法はあるでしょうか？
服を着るみんなや消費者側がどのように変わっていけば、地球にやさしい服が着続けられるでしょうか？

- ・地球にやさしい服の選び方ってどんな方法があるだろう？
- ・着られなくなった服はどのように処分したら地球への負担が減らせるだろう？
- ・地球にやさしい服のお手入れはどんな方法があるだろう？
- ・長く着られる地球にやさしい服の着方はどんな方法があるだろう？

ひらめき・アイディアの実現可能性は問いません。
ここに書いていない発想もまだまだきっとたくさんあるはず。みんなで一緒に考えてみましょう。



どんな、ひらめき・アイディアがあるだろう？

地球にやさしい未来の服は、どんな服だろう？

この展示会は、コンテストのように競い合ったり、順位をつけたりすること
は一切ありません。

すべてのひらめき・アイディアには可能性があり、それを見た誰かの気づきに
つながって、好循環が生まれていくーそんな可能性があると思っているか
らです。

展示会では、皆さんが考えてくれたさまざまなひらめき・アイディアを、来場
者みんなで見えて、考えて、感じることで、「地球にやさしい未来の服」につい
て考えるきっかけにしたいと考えています。

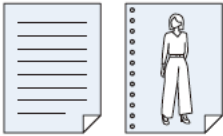
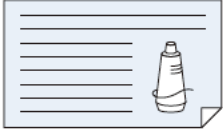
たくさんのひらめき・アイディアをお待ちしています。

募集カテゴリー

以下2つのカテゴリーから、お選びいただきご応募ください。

文章・イラスト制作

ひらめき・アイデアも、文章やイラストで表現するカテゴリーです。

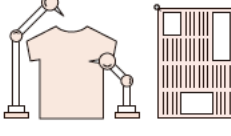
A4 (210mm × 297mm) 以上～
縦横紙四六判の四つ切 (393mm × 454mm) 以内

自由にお使いいただける定型応募フォーマットも用意しています。
「ひらめき展2027 特設サイト」よりダウンロードください。

自由制作

ひらめき・アイデアも、制作物で自由に表現するカテゴリーです。

【 服、工作・模型、壁新聞など 】

送付時の3辺合計120cm以内、重さ15kg以内
※壁新聞など枚数が多い場合は、重ねて展示する可能性があります。

今回「ゴールドウイン 地球にやさしい未来の服、ひらめき展」で募集するひらめき・アイデア作品は2つのカテゴリーがあります。

①文章・イラスト カテゴリー

「地球にやさしい未来の服」のひらめき・アイデアを、文章やイラストで表現するカテゴリーです。

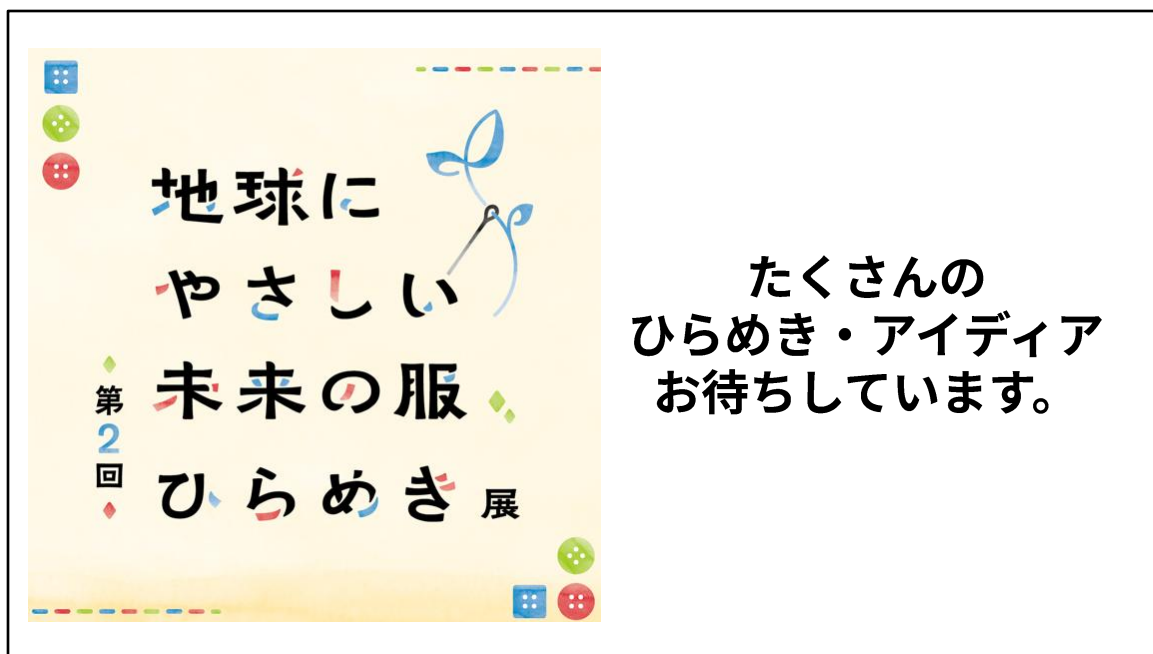
- ・ワードやパワーポイントなどのアプリケーションで作成した論文やスライドも含まれます。
- ・アナログ作品の場合、画材（紙、紙質、筆記具の種類など）は自由です。
- ・定型応募フォーマット（A4横のPDF）も用意しています。

②自由制作 カテゴリー

「地球にやさしい未来の服」のアイデアを、制作物で自由に表現するカテゴリーです。

・自由制作とは、服、工作・模型、壁新聞など、形式を問わず自由な表現のひらめき・アイデア作品を指します。

そのほか、作品に関する注意事項をよく確認して制作の上、応募ください。



展示会「ゴールドウイン 地球にやさしい未来の服、ひらめき展」は、2027年3月に予定しています。
詳細のお知らせを、後日、ゴールドウインから行いますので、ぜひ、会場に遊びにきてください。



【お問い合わせ】

「ゴールドウィン 地球にやさしい未来の服、ひらめき展」事務局

TEL：03-5877-8165（ポプラエデュケーション内）

受付時間：平日10：00～17：00（土日祝日と年末年始12/29～1/4を除く）